



2020年3月10日

各位

会社名 株式会社マイネット  
 住所 東京都港区北青山二丁目11番3号  
 代表者名 代表取締役社長 上原 仁  
 (コード番号: 3928)

問い合わせ先 取締役 澤野 真実  
 コーポレート本部長

TEL. 03-6864-4261

**2019年12月期における特別損失の追加計上および  
 2020年12月期連結業績予想の上方修正に関するお知らせ**

本日開示いたしました「(訂正・数値データ訂正)「2019年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について」に基づき、2019年12月期において、子会社取得にかかるのれんを減損損失(特別損失)として計上することに至りましたのでお知らせいたします。また、2020年2月14日に公表いたしました2020年12月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 2019年12月期における特別損失の追加計上について

2019年12月期において、当社の連結財務諸表において子会社取得にかかるのれん433,806千円を『会計制度委員会報告第7号連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針(日本公認会計士協会)』の32項に基づき、減損損失(特別損失)として計上することにいたしました。

本訂正に伴う当社の2019年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)の訂正につきましては、本日開示いたしました「(訂正・数値データ訂正)「2019年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について」をご参照ください。

## 2. 2019年12月期における特別損失の追加計上の理由

2020年2月14日の決算短信公表後、当社の連結財務諸表において、のれんについての処理方法の一部に誤りがあることが判明いたしました。

2020年2月14日の決算短信公表時においては、会計監査人に当該のれんの処理方法について確認をいたうえで公表しております。また、連結計算書類に適正意見を述べる監査報告書を3月2日に会計監査人より受領しております。

しかしながら、3月4日に会計監査人である監査法人内の品質管理部門からの指摘があったことを契機に、当社と監査法人にて協議を行った結果、子会社取得にかかるのれん433,806千円を2019年12月期において減損処理し、減損損失(特別損失)に追加計上を行うことに至ったものです。

## 3. 業績予想の修正について

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想(A)	11,000	400	-	-
今回修正予想(B)	11,000	750	700	500
増減額(B-A)	-	350	-	-
増減率(%)	-	187.5	-	-
前期連結業績 (2019年12月期 通期)	11,649	△774	△814	△2,408

## 4. 修正の理由

当社は、本日開示いたしました「(訂正・数値データ訂正)「2019年12月期 決算短信〔日本基準〕

(連結)」の一部訂正について」でお知らせいたしましたとおり、2019年12月期において、当社の連結財務諸表において子会社取得にかかるのれん 433,806 千円を『会計制度委員会報告第7号連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針（日本公認会計士協会）』の32項に基づき、減損損失（以下、「本件減損」といいます。）として計上することになりました。本件減損は、当社が運営する各タイトルの収益性の増減に起因するものではなく、2019年12月期の当社の個別決算において当社が保有する子会社株式の減損損失を計上したことに起因するものです。一方で、本件減損により、2020年12月期におけるのれんの償却額が減少することになった事実を踏まえ、2020年12月期（2020年1月1日～2020年12月31日）の営業利益が増加する見通しとなりましたので、2020年2月14日に開示いたしました業績予想を修正することになりました。また、本件減損により、2020年12月期（2020年1月1日～2020年12月31日）における減損リスクが低下したため、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についても通期予想を開示することになりました。

以 上